



猪高スキー部の3年生来庁

高校総体の結果報告のため来庁



左端が豊澤監督、右端が新田銀一校長。
3年間頑張った部員の皆さん、お疲れさまでした。大
学でも頑張って競技を続けてください。

猪苗代高校の新田銀一校長、豊澤徹也スキー部監督、スキー部の3年生4人は2月18日、第59回全国高等学校スキー大会の報告のため町役場を訪れました。

2月2日から7日まで北海道で開催されたこの大会では、井上賢之介さんが男子大回転で優勝。県勢初となる快挙を成し遂げました。

報告を受けた津金町長は「猪苗代高校はもちろん猪苗代町の名前も高まった。これからも頑張ってください。君たちの可能性を信じています」とあいさつし選手たちの労をねぎらいました。

豊澤監督は「昨年2位の井上さんが1位に上がるのは簡単なことではない。よくやってくれた。女子は一人一人が自分との戦いに勝って練習通りの滑りができていた。みんな頑張ってくれてうれしい」と教え子たちを褒めたたえました。



井上賢之介さん
最後のインターハイは昨年より緊張した。優勝できてよかったです。



加藤由香さん
クロカンチーフとして頑張りました。大学でも競技を続けます。



上遠野祐佳さん
入賞を目指してやってきたが叶わなかった。大学でも頑張りたい。



伊東美衣子さん
今回は体が動いて自分の滑りができました。大学では全国上位を目指します

「猪苗代湖」小惑星の名前に

国際天文連合の承認を受け報告



大野台長(右)から命名認定証を受け取る津金町長(左)

田村市の星の村天文台の大野^{ひろの}裕明^{あき}台長は2月24日、町役場を訪れ、須賀川市の彗星^{すいせい}研究家佐藤^{さとう}裕久^{ひさひさ}さんとともに命名した小惑星「Inawashiroko」が、国際天文連合(I A U)に承認されたことを津金町長に報告しました。これは県のシンボル猪苗代湖の名を小惑星に付けたいと相談していたお二人が、登録番号「17465番」の命名提案権を譲り受け申請、認定されたものです。

報告を受けた津金町長は「町民の自慢の種がまた一つ増えた。猪苗代湖の水質日本一復活への弾みになる」と感謝を述べました。

※「Inawashiroko」は直径約10^{km}、明るさは14等級。火星と木星の間に存在し、5.15年で太陽を1周する。肉眼では見えないが、天文台の大型望遠鏡などで観測可能。

今や「男子厨房に入るべし」

男の料理に15人が挑戦する



食生活改善推進員の指導の下、料理に挑む参加者ら

町食生活改善推進員会(星久子会長)が主催する21年度男の料理教室は2月25日、町農村環境改善センターで開催されました。

この教室は、男性にも料理を楽しんでもらい、食に対する関心を高めてもらおうと毎年開催されているものです。今回は15人が参加して食生活改善推進員の指導の下、焼きうどんや野菜サラダなど4品に挑みました。

また、午後からは町内でダンスの講師を務める猪俣利栄^{としえい}さんを講師に招き、体にやさしい歩き方や簡単な社交ダンスなどを学びました。

町民ホールで地デジ放送を

西山組合会が町にテレビを寄贈



目録を手渡す本多会長(中央)と青木副会長(右)

西山組合会の本多^{つとむ}努^{ゆき}会長と青木幸則副会長は2月12日、町役場を訪れ、津金町長に大型デジタルテレビの目録を手渡しました。

この寄付は、以前寄付した役場町民ホールのテレビを地上デジタル放送に対応したテレビに買い替え、町民の皆さんにデジタル放送を楽しんでもらおうと、同組合が事業の一環として計画していたものです。

津金町長は「西山組合会の皆さんには、カメリーナのテレビなど、町民のためにいろいろと寄付していただいている。来庁者のために有効に活用したい」と感謝を述べました。

中心市街地の活性化に期待

まちづくり推進委員会が提言書



提言書を手渡す小松山委員長(中央)と赤埴副委員長(右)

町中心市街地の活性化や住みよいまちづくりなどに取り組む「歩いて暮らせるまちづくり」事業。その事業内容についての検討を重ねてきた、町歩いて暮らせるまちづくり推進委員会の小松山六郎^{ろくろ}委員長と赤埴^{あか}早智子^{さちこ}副委員長は2月3日、町役場を訪れ津金町長に提言書を手渡しました。

提言書では子育て支援、健康づくりや世代間・地域間交流など町が取り組むべき事項を提示し、また、旧役場跡地への施設整備を先行するのではなく、中央商店街のにぎわいを取り戻し、それを周辺エリアに広げていくことが大事であると提言しました。